

石尾台・高森台における医療介護・住まい等の状況（関係者からの聞き取り）

	主 な 意 見
医療・介護・生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が相談できる場が近くにないため必要である。 ・医療介護連携はあまりとれていない。ICT を使って医療介護の情報共有ができるとよい。 ・地域包括支援センターがニュータウンの中にあってもいいのではないか。 ・訪問診療を行う人がもっといるといい。在宅医療支援診療所がもう少しあると良い。 ・24時間の定期巡回は必要と思うが、人材不足、バランスのよいニーズがない等から経営は難しい。
住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベータがない団地ばかりであり、病気の人、車いすの人など、外に出たくても出られない。 ・サ高住のニーズはあると思うし、戸建からの住み替えもあると思う。住み替え後の家をどうするかをセットで考える必要がある。 ・石尾台は空き家が多くなっている。 ・戸建もこのまま住み続けられるかという問題もある。 ・高森台の団地は空きが多い。 ・家族や支援関係者も、病院から在宅（賃貸住宅）へ戻るのは、ちょっと無理とってしまう。地域で長く暮らすというイメージを持ちにくい。
多世代交流	<ul style="list-style-type: none"> ・石尾台や高森台は交流できる場所が少ない。 ・住民が集まる機会のないところも多い。行政に活性化でき交流できるものを考えてほしい。 ・サ高住で高齢者が興味を持つ娯楽、趣味、教室などの活動ができるとよい。 ・石尾台では地区社協の活動が活発に行われている。 ・賃貸住宅はエレベータもなく、無理して外出しようとしなない。 ・戸建と賃貸の人が一緒に交流を図っていくには難しい面がある。
地域の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて買い物に行けるところがあると良い。 ・かつてはサブセンターがあり購買施設がつくられた。移動販売車はどこも赤字であり、不安定なサービスである。 ・高い教育水準、快適な住環境、少ない犯罪等をアピールして、若い人に住んでもらう必要がある。